

“鮮度一番！”

No.226

～女性と男性が支え合う社会をつくる～

CONTENTS

1～2 / ワーママのジレンマ Vol. 9

2 / ひとつコラム

3 / 参加報告

4 / お知らせ 編集後記

Vol. 9

ワーママのジレンマ

石本史子

予想以上の大寒波に、皆様本当にお疲れ様でございます。私の記憶では35年前に父が屋根の雪下ろしをしており、それ以来の大雪に心底春が恋しいです。

しかし、ママのジレンマを取り上げたイベントが熱いです！！今回はそれについて、お伝えしたいと思います。最初はこちらの紙面で宣伝をさせていただこうと思っていたのですが、もはや報告になってしまいます。

3月6日(火)新潟市西区ゆめのき学園にて、『わたしの人生をいきる～ママの「はたらく」を考える～』というイベントを行います。参加費1500円で定員は20名なのですが、情報をネット配信して3日も経たずに定員以上のご応募をいただくほどの大反響です。現在は定員枠を増やした上にキャンセル待ち状態になっております。

このイベントを企画したのは、私を含む6人の普通の人たち。毎日時間に追われて、出勤したり、登園させたり、学校に送りだしたり、買い物に行ったり、家事をしたり…。そんなママたちだから、全員で顔を合わせたのはまだたったの2回です。しかもみんな忙しいので、最長で2時間半も打合せできません。それでも、それぞれ「ママの生き方をもっと柔軟なものに変えていきたい」という強い想いの元、2度会った以外は全てLINEのグループトークで相談したり、決定したりしました。

チラシやホームページのたたき台は私が作らせてもらい、それを元にみんなの意見を入れていって、企業スポンサーさんもつきました。

イベントをネットで公開した時の緊張感は、今でも思い出せるほどです。ちゃんと定員に達するかどうか不安で仕方ありませんでした。

しかし、それはありがたいことに杞憂に終わってくれました。

では、一体どんなママさんが申し込んで下さったのでしょうか？お申し込み時に参加動機をお答えいただきました。

なんと動機の第1位は私たちパネラーに会いたい！というものでした。次いで、イベントタイトルに興味有、3番目に多いのが仕事と子育てとのバランス、そして子育てになんかもやもや…といった具合でした。(以下省略)

ここから推察される、今回の会に望むことはだれか素晴らしいスーパーウーマンが来て講演をする

のではなく、等身大のママたち複数人が、子育てと仕事とのバランスの狭間でどうもややしながらも自分らしく生きようとしているのかを聞きたいということではないでしょうか？

加えて、4月を前にして、育休からの復帰直前のママたちが日々不安にさいなまれていることが容易に想像できるのです。実際、締め切った後にもそういうママたちから「ぜひ参加したい！」という声が聞こえてきたほどです。

しかし、残念ながら今の三条市ではそういうママたちの声なき声を拾う場所がないことを大変残念に思います。

そして、子どもたちもいずれ母や父へとなるのです。その未来の父母へ少しでもいい環境にしてバトンタッチしてあげられるように、私は今頑張らなくてはいけないと思っています。

新潟市は企業さんの応援ができました。ここ三条ではどうでしょう？どうかこれから三条でも私たちのような活動が盛んになることを願っています。

詳しい情報はどうぞこちらのホームページをご覧ください。

→ <https://livemyself.jimdo.com> 「わたし」をいきる実行委員会

・・・ひとことコラム・・・

K.N

1月の大雪が少し落ち着いたと思ったら、2月に入っての雪の降り方はさらにすさまじく、ちょっと怖いくらいです。通常20分程度の燕三条駅までは片道で約2時間かかり、信越線が止まって新幹線を利用する家族の送迎にぐったり。毎日の雪かきにもぐったりでしたが、知り合いから除雪道具の事で面白い事を聞いたので受け売りを書いてみます。

見附を境に使っている道具が変わるのだとか。

スノーダンプは三条辺りでは軽量のポリカーボネート製が主流だけど、長岡に入ると鉄製のものになるとのこと。こちらは重いけど雪が貼りつきにくく、硬い雪にも対応できて1家に1台、いや2台3台所有のお宅もあるというはずせない道具らしいです。

スコップも軽いアルミ製やポリカ性から鉄製に変わるらしく・・・。とは言え、我が家も三条市内ですがアルミ製は何本かダメにしたので今は鉄製のものを主流に使っています。スコップに雪が貼りついて取れなくなって困るのですが、これも知人から教えてもらいましたが、シリコンスプレーを吹くと良いのだとか。

もはや雪の置き場がなくなりつつあり、重いスコップで雪を高く積み上げるのもしんどいです・・・。ああ、春が待ち遠しいです。



【参加報告】

2018年1月27日

“楽しく孫育て！！～孫育て みんながハッピー～” 参加報告

F.M

子どもは3人とも成人したが、子育てすら胸を張れるような親ではない私に「孫育て」は程遠いというより、毛頭考えてもいないことであるが、大好きな西方さんのプロの話を聞きたくて参加した。

私には、幸い2歳と3歳の孫がおり時々遊びに来てくれて泊まったりもしてくれる。子育ては悩みの連続だったし、正解というものも無いと思うが、自分に自信がない私は、いつも自分のダメママぶりに押し潰されそうで、また、当時の夫が家庭生活に協力しづらい仕事(稼業)だったせいもあり、今当時を振り返っても涙が出そうになる。心身共に疲れており、貧乏だった。前置きが長くなってしまったので、本題に入ろう。

まず、〈超高齢少子社会における子育ての環境〉の数々の数字に驚いた。2020年、2年後に女性の半数が50歳越え！ヒェ～、何だか可哀想な気さえしてしまう。

2歳の孫は、当時長男と嫁と嫁の母が話し合っ中絶しようとしており、嫁だけを私が呼び出し「あなたの本当の気持ちを聞かせて欲しい」と話した所「本当は産みたい、けど車のローンがあるし…」との事で、ハア～？となり、「私がローン残金支払う！」と言ったら、「生みます」となり産まれてくれた。(H27年妊娠中絶が、新潟県内2,722人にならなくて良かった) たった数十万円が、命と引き換えになるなんて有り得ない事だ。そう考えると2,721人も遠からぬ理由の人もいるのかも知れない。切ないことだ。

〈子育て環境の変化〉の「現在の子育て」は嫁に当てはまり、「ひと昔の子育て」は私に当てはまった。私は自分の子どもは自分で育てようと思い(結果どうなろうと、私の責任と考えていた)、嫁は、二人とも未満児で保育所に預けて働いている。息子も育児参加は当然で、実家である我家に来た時も、嫁に私や息子への遠慮(?)は一切ない。とにかくコンビニでよく飲料等購入している。私は子どもの保育所の先生に「〇〇君くらいですよ、ふかし芋を、おいもだ！おいもだ！って喜ぶの」って言われ驚いた。

今、家を建てる話が進んでいるので、経済面がとても気になっている私である。もう決めたいが、ひと言だけ、念を押しておこうと思っている。

〈祖父母の役割〉

私は、愛を送り続けることと見守ること=待つ・許す・願うと受け止めた。2人の息子から言われたことを思い出す。「俺、ほめられて伸びるタイプらっけさ。」また、親の育児をほめるという点で亡くなった叔父(母の兄)を思い出した。叔父は、市役所勤めの娘(私の従姉妹)をほめながら献身的に孫を育てていた。私も見習ってたまには息子をほめなければと思う。暑い夏、息子が孫2人の手をひいて歩く姿が何ともカッコ悪いのに、やっぱり涙が出そうなくらいカッコイイ！と思った。自分が、子どもとゆったり遊んだ記憶がないから、孫ともゆったり遊ぶって難しいが、遊んでもらっている。

先日も「ムーちゃんいない」って、2歳の孫が言う。私がいるのわかっているのに?! 嫁には本当に感謝している。彼女は、言葉で子どもに言い聞かせようとしている。自信に満ちているように見える。結婚した年齢も第一子を産んだ年齢も私と一緒に…。

子どもが小さい時は、本当に短い。私らしくかかわってほしいと、そして人生捨てたもんじゃないなんて思えるお話でした。ありがとうございました。

(もちろん、お料理絶品でした。)

【お知らせ】

出前でトーク

こんにちは市川房枝です in新潟

市川房枝（1893～1981）は、戦前から女性の参政権獲得運動に邁進し、戦後も選挙と政治の浄化、女性差別撤廃条約の批准など女性の地位向上に取り組んできました。

女性参政権が実現して73年経ちましたが、女性は参政権を有効につかって社会に参画しているでしょうか。昨年の衆議院総選挙では、女性の投票率は全体で男性を下回り、女性議員もわずか47人（全体の10.1%）で、これが日本の男女格差指数（GGGI）を世界144カ国中114位へと押し下げている要因になっています。

このような現状のもと、もう一度市川房枝の活動や生き方に学び、新潟の政治・政策決定の場への女性の参画について一緒に考えたいと思います。

- ◆日 時：2018年**3月17日（土曜日）** 13:30～16:00
- ◆会 場：アルザにいがた（新潟市男女共同参画推進センター）
（新潟市中央区東万代町9-1 万代市民会館3階）
- ◆内 容：ドキュメンタリー映画「八十七歳の青春～市川房枝生涯を語る」（60分）
トーク「女性の政治参画～市川房枝から学ぶ」
トーク「新潟の婦選運動と市川房枝」
- ◆参加費：500円（要予約・先着順）
- ◆主 催：（公財）市川房枝記念会女性と政治センター
- ◆共 催：にいがた女性会議
- ◆協 力：北京JAC・新潟、F&Mながおか市民会議、三条女性会議等
- ◆申込・問合せ：TEL/FAX 025-286-1046（村上）

今月は、研修会でみんなと顔を合わせられたので、運営委員会をお休みにしました。

来月の運営委員会は、3月7日（水曜日）午前9時30分から、三条市男女共同参画センターで開きますので、どなたもおいでください。

編集後記：

誰に会っても最初の言葉は「雪はもううんざり」の会話でした。が、オリンピックが始まり雪を気にしながらテレビにくぎ付けの日々。メダルの色も気にしながら選手の頑張りに涙と拍手、『雪なんかになんか負けてたまるか』の気持ちにさせられました。

少し興奮気味で仕上げた鮮度一番226号、どうぞ隅から隅までお読みください。（原）



編集発行：三条女性会議・代表 野崎ミチコ

連絡先：三条市田島2丁目12-12 TEL 32-3667 FAX 32-3679

ホームページアドレス：<http://www.joseikaigi.net>